

研究報告 : beginnenと副詞の共起

恒川, 元行

九州大学大学院言語文化研究院言語環境学部門 : 教授 : 言語情報学

<https://doi.org/10.15017/21810>

出版情報 : 言語文化論究. 28, pp.217-222, 2012-03-02. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン :
権利関係 :



研究報告：beginnen と副詞の共起

恒 川 元 行

九州大学大学院言語文化研究院 言語文化論究 第28号 平成24年2月発行 抜刷

Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
Motooka, Fukuoka, Japan

STUDIES IN LANGUAGES AND CULTURES, No.28, February 2012

＜研究報告＞

beginnen と副詞の共起

恒 川 元 行

1. はじめに

これまで *beginnen* については、いずれも「～を始める」という意味を表す2つの用法（et4 *beginnen* および mit et3 *beginnen*¹⁾）の競合関係の解明に焦点を当てて、3回の研究報告を行った（池内・恒川・堀口1996、恒川1998、恒川2011）。このうち、*beginnen* と副詞の共起関係については、池内・恒川・堀口（1996）において、HIT コーパス²⁾から得られた事例に基づき、以下の指摘を行った。

このような開始の様態は、<mit + 3格> においても現れて不思議はないにもかかわらず、実際にはほとんど見られないことは特筆すべきことである。実は、<mit + 3格> には別様の様態を表わす副詞規定が頻出する。それは、bald、bereits、früh、jetzt、rasch、unverzüglich、zügig などの開始の時間を際立たせようとする副詞規定である。（池内・恒川・堀口1996:94）

また、恒川（2011）においては、新たに国立ドイツ語研究所（IDS）のCOSMASIIを利用して行った1000例の調査に基づき、共起に関する以下の指摘を行った。

時間の副詞規定に関しては、たとえばsofort はmit et3にしか見られないが、et4と共通するものも多い。また、池内・恒川・堀口（1996）では、mit et3には「開始の時間を際立たせようとする副詞規定（bald、bereits、früh、jetzt、rasch、unverzüglich、zügig など）」が多いという指摘を行ったが、今回、これは明確にならなかった。（恒川2011:142）

恒川（1998）では、さらに、et4にのみ形容詞neu/erneutとの共起（HIT=8; MK1=6）が見られることも指摘した。この共起関係は、今回の再検討でもet4にのみ確認された（64例中の6例）。（恒川2011:144）

これらの指摘は、いずれも上記の競合する2つの用法（et4 *beginnen* および mit et3 *beginnen*）に限った副詞類との共起関係に関するものであり、その他の用法（自動詞用法、zu不定詞句用法など）を含めた *beginnen* の用例全体における共起関係の調査ではなかった。

今回の研究報告は、IDSのCOSMASIIを利用して、その他の用法（自動詞用法、zu不定詞句用法など）を含む *beginnen* の用法全体について、*beginnen* と7つの副詞（unverzüglich、sofort、bald、bereits、früh、erneut、neu）との共起関係を調査した結果を報告するものである。調査対象には *beginnen* の競合用法（et4およびmit et3）も含まれていることから、ここに報告する調査は、上記の3つの指摘の検証ともなっている。

2. 利用したコーパスと方法

利用したコーパス調査分析システムはIDS-CosmasIIであり、これによりIDSの「書き言葉アーカイブ W - Archiv der geschriebenen Sprache」に収められた多数の書き言葉コーパスのうち、公

開されているコーパスの全体「W-öffentlich - alle öffentlichen Korpora des Archivs W」にアクセスし、検索を行った。

このコーパスにおける beginnen の事例全体は優に 100 万件を超え、調査対象の副詞との共起もふつう数千件に上るため、CosmasII の無作為抽出機能（Zufallauswahl / zufällig reduziert）を使って、まず「同一文に beginnen および当該の副詞が含まれる事例」をそれぞれ 200 例ずつ抽出し、対象数を限定した。この 200 例には「ごみ」も混じっているため、それをその後手作業で取り除き、実際の共起例を抽出・分類した。³⁾

3. 調査結果

副詞を mit et3 の数値の大きい方から降順で配列し、調査結果を示したものが、下表である。

この表の数値を見ると、副詞 unverzüglich、sofort、bald、bereits、früh は et4 より mit et3 の方と共起しやすい傾向が見られ、上掲の池内・恒川・堀口（1996）の指摘が正しいことをうかがわせている。しかし、他の用法にも目を向けると、bald、bereits では物主語自動詞用法（vi/et）での共起の方がはるかに多く、新たな問題提起となっている。

他方、副詞 erneut、neu は、恒川（1998）、恒川（2011）の指摘とは異なり、mit et3 との共起も見られるだけでなく、erneut については mit et3 の数値の方が大きい結果となっている。neu、erneut については、「5. 今後の課題」に述べるような問題もあり、今後、精査が必要である。

	unverzüglich	sofort	bald	bereits	früh	erneut	neu
○母数 1	714	7434	8280	54164	6909	2499	5172
○母数 2	200	200	200	200	200	200	200
et4	16	3	3	6	2	10	12
mit et3	130	92	37	33	32	13	4
vi/j	2	3	4	2	9	11	22
vi/et	24	26	82	90	38	53	38
zu/j	9	17	19	5	17	16	2
zu/et	1	5	1	0	2	8	2
zu/es	0	0	0	1	1	2	0
begonnen	1	0	0	4	0	0	7
保留	2			1		1	4
○小計	183	146	146	142	101	113	87
非該当例	15	54	54	58	99	86	109
○合計	200	200	200	200	200	200	200

上表において、「母数 1」は、調査時点において「同一文に beginnen および当該の副詞が含まれる事例」という条件でヒットした事例数で、副詞により大小さまざまである。「母数 2」は、CosmasII の無作為抽出機能を利用して抽出した調査対象の事例数で、いずれの副詞の場合も 200 である。上述のように、この 200 例には非該当例（「ごみ」）も含まれているため、その除外されるべき数値を「非該当例」欄に挙げている。これら非該当例を除いた実際の調査対象数が「小計」である。また、unverzüglich、bereits、erneut、neu には「保留」の数値が少数挙げられている。これは、現時点では確信を持って分類ができず、さしあたり保留としてある事例の数である。

なお、ここに分類されている *beginnen* の用法は、以下「4. *beginnen* の用法」において具体例を挙げて例示する。

4. *beginnen* の用法

① 他動詞用法（人主語）**et**4

Als sichtbares Solidaritätssignal sollten in Betrieben oder Gewerkschafts-häusern **unverzüglich Hungerstreiks begonnen** werden. (Nürnberger Nach-richten, 24.07.1993)

Dies sei ein hoher Anteil, mit dem im Landkreis immerhin elf **Bauvorhaben** weitergeführt und zehn **neu begonnen** werden könnten. (Rhein-Zeitung, 17.11.2004)

② 自動詞用法 (1)：人主語 **mit et**3

Vor dem Morgenessen musste alles gepackt sein, weil danach **sofort mit dem Zeltabbruch begonnen** wurde. (St. Galler Tagblatt, 14.07.1999)

Ältere Menschen, die **neu** oder nach längerer Pause **mit Sport beginnen**, sollten anfangs vorsichtig sein. (Nürnberger Zeitung, 07.03.2006)

③ 自動詞用法 (2)：人主語 **vi/j**

Die Firmen, die jetzt den Zuschlag erhielten, stehen bereit und werden **unverzüglich beginnen**. (Rhein-Zeitung, 23.12.2008)

Alein in Mannheim können **bald** bis zu 240 **Studienanfänger** zusätzlich **beginnen**. (Mannheimer Morgen, 15.03.2007)

④ 自動詞用法 (3)：物主語 **vi/et**

Nach der Veröffentlichung des Berichtes über Bill Clintons Affären **begann** in Washington **sofort ein doppelter Kampf**. (Kleine Zeitung, 13.09.1998)

Dann **beginnt der Prozess neu**. (Rhein-Zeitung, 21.01.2010)

⑤ zu 不定詞句用法：人主語 **zu/j** ⁴⁾

Als ich zum 9. Geburtstag meine erste Gitarre bekam, **begann ich sofort**, fleißig **zu** üben. (Braunschweiger Zeitung, 16.08.2007)

Jetzt **beginnen Veranstalter neu**, Touristen aufs obere Nettetel aufmerksam zu machen. (Rhein-Zeitung, 15.03.2004)

⑥ zu 不定詞句用法：物主語 **zu/et**

Das Fett begann sofort zu brennen. (Tiroler Tageszeitung, 20.04.1999)

Das gegenwärtige Pontifikat wird in nicht allzu ferner Zukunft zu Ende gehen, und dann könnte

auch für Haas **die Uhr neu zu** laufen **beginnen**. (Zürcher Tagesanzeiger, 10.01.1997)

⑦ zu 不定詞句用法：非人称主語 **zu/es**

Während der Chauffeur sich mit dem widerspenstigen Motor abmüht, fahren unzählige Camions an uns vorbei, obwohl **es bereits** dunkel **zu** werden **beginnt**. (Zürcher Tagesanzeiger, 14.12.1996)

⑧過去分詞の付加語用法 **begonnen** ⁵⁾

Bis vor wenigen Tagen war das **bereits begonnene** Projekt wegen fehlender Finanzmittel infrage gestellt. (Rhein-Zeitung, 02.02.2002)

Im **neu begonnenen** Lebensabschnitt will sie vor allem der Arbeit in ihrem großen Garten und den vielen Hobbys nachgehen. (Kleine Zeitung, 08.01.2000)

5. 今後の課題

動詞 *beginnen* と各副詞との関係は一樣ではなく、必ずしも明快ではない。たとえば、以下の例 (1) ~ (3) は同一文に *beginnen* および *neu/erneut* が含まれる事例であり、今回、分析対象に含めて考えたが、両者の関係は直接的ではなく、再考が必要かもしれない。

また、例 (4)、(5) ではコンマによって、*erneut* の修飾対象が前者では *beginnen* であり、後者では *taufen* である（したがって分析対象から除外される）ことが示されている。しかし、(6) ではこのような明快な判断は付けにくい。

このような事例は、多かれ少なかれいずれの副詞の用法にも見られるが、今回取り上げた対象の中では、*neu*、*erneut* に特に多いように思われる。今後、副詞の修飾のあり方をより深く考察することが、ひとつの大きな課題である。

(1) Nach den Sommerferien gilt im evangelisch-reformierten Kirchenkreis Riethüsli-Hofstetten eine neue Anfangszeit für den Sonntagsgottesdienst. Dieser **beginnt** dann **neu** um 10 Uhr. (St. Galler Tagblatt, 30.06.1998)

(2) Heute Vormittag wollen Köhler, Bundeskanzlerin Angela Merkel sowie Abgeordnete und Diplomaten an einem ökumenischen Festgottesdienst im Berliner Dom teilnehmen, der im Fernsehen sowie auf einer Großbildleinwand auf dem Berliner Gendarmenmarkt live übertragen wird. ... Der Sonnabend **beginnt erneut** mit einem Gottesdienst. (Hannoversche Allgemeine, 22.05.2009)

(3) Im zweiten Spielabschnitt **begannen** die Irmenacher **erneut** konzentriert in der Abwehr, dafür überboten sich die Spieler im Angriff beim Auslassen hundertprozentiger Möglichkeiten. (Rhein-Zeitung, 15.03.2010)

(4) Als das Buch geschrieben war, **begann** der zähe, ausdauernde Mann **erneut**, gegen Windmühlenflügel zu kämpfen. (Braunschweiger Zeitung, 17.07.2007)

(5) Tatsächlich, berichtet Walder, hatten die Zolliker während der Reformation **begonnen**, ihre

Kinder nicht mehr zur Taufe zu bringen und dafür Erwachsene **erneut** zu taufen, dies in der Kirche, an einem Dorfbrunnen und im Nebelbach. (Zürcher Tagesanzeiger, 28.12.1998)

- (6) Und eine halbe Stunde später **begann** die Erde **erneut** zu zittern – ein Nachbeben erschütterte die Region. (Braunschweiger Zeitung, 07.04.2009)

注

本研究報告は、平成 21 年～ 24 年度科研基盤研究 (C)「ドイツ語テキスト及び文における語彙出現予測分析とその和独辞典・教材への応用」(研究代表者：井口靖・三重大学人文学部教授)の一環として行った研究に基づいている。

- 1) 以下では、4 格目的語をとる用法 et4 beginnen を単に「et4」、前置詞目的語をとる用法 mit et3 beginnen を「mit + 3 格」または「mit et3」と表示することがある。
- 2) 池内・恒川・堀口 (1996) の時代には、現代ドイツ語の研究に使えるコーパスがまだなかった。そのため、この 3 人で独自のコーパス (HIT コーパス、19.5MB) を共同構築し、そこから収集した事例を用いて、いくつかの研究を行った。HIT コーパスの概要は、池内・恒川・堀口 (1996) 95f. を参照。
- 3) 「ごみ」とは、たとえば以下のような例を指す。
 - ① beginnen と副詞が並列された文のそれぞれに別個に含まれる例
Unverzüglich packte die Besatzung ihre Gerätschaften aus und **begann** mit den ersten von insgesamt rund 80 geplanten Experimenten in der Schwerelosigkeit. (Berliner Morgenpost, 31.10.1998)
 - ② beginnen と副詞が主文および副文、関係文、zu 不定詞句に別個に含まれる例
Tierbesitzer, die im Laufe des Jahres erstmalig mit der Tierhaltung **beginnen**, sind verpflichtet dies der Tierseuchenkasse **unverzüglich** schriftlich mitzuteilen. (Mannheimer Morgen, 03.01.2004)
 - ③ 副詞が他の修飾句に含まれる例
Die **unverzüglich** verständigten Polizei-beamten **begannen** mit der Reanimation. (Niederösterreichische Nachrichten, 23.09.2009)
 - ④ コーパスの不備 (この例は、間にスペースがなく 2 文が連続)
Für einige Kinder **beginnt** hier der Weg zu einer spezifischen Sportart, wie Handball, Basketball, Fußball oder Volleyball.“Thorsten Kübeck ist **neu** an der Nibelungenschule, hat in seiner dreijährigen Tätigkeit für die Ballschule Heidelberg aber schon viele Projekte betreut. (Mannheimer Morgen, 27.10.2010)
- 4) この人主語の zu 不定詞句用法は、相関詞 damit を伴う zu 不定詞句用法と意味上の区別はつけがたい。本研究では、形態的な特徴を優先しているため別個の扱いとしているが、今後、どう扱うべきか、検討を要する用法である。

Warum ausgerechnet Berufsanfänger **sofort** damit **beginnen** sollten, eine gewisse Summe für das

Alter zurück**zu**legen, leuchtet vielen nicht ein. (Nürnberger Zeitung, 09.09.2008)

- 5) 池内・恒川・堀口 (1996)、恒川 (1998) では、begonnen の付加語用法をすべて et4 の例に含めて扱ったが、他動詞用法とは断定できない例も少なからず見られるため、本研究では別個に集計した。

参 考 文 献

- 池内・恒川・堀口 (1996) : beginnen の一用法における 4 格と mit+3 格の競合について
「大分大学工学部研究報告」第 33 号、89-96 頁、1996 年 2 月
- 恒川 (1998) : コーパスを用いた語法論的結合分析
日本独文学会シンポジウムでの口頭発表、1998 年 6 月 6 日
- 恒川 (2011) : 「～を始める」の意の beginnen の競合用法と文脈の予測
九州大学言語文化研究院言語研究会『言語科学 46』、研究報告、2011 年 3 月